

調査にご協力をお願いします

2005年農林業センサス



農林水産省では、2月1日現在で、「2005年農林業センサス」を実施します。

この調査は農林業の国勢調査ともいわれ、日本の農林業・農山村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査です。

この調査では、農林業の経営・従事状況、経営耕地の状況、農作物の生産・販売状況などの項目について、みなさんに記入していただいた調査票をもとに集計され、国や県市町村はもちろん各方面で活用される総合的な統計資料を得るものです。

下のグラフは農家数に関する集計の一部です。

1月中旬から、調査員が農家など農業関係者を訪問し、調査票をお渡しします。調査員がつかがいましたら、ご協力をお願いします。

2005年農林業センサス
 についてのお問い合わせは、
 市行政広報室 32 202
 8へご連絡ください。

農家数 (平成7年)	販売農家 3,403戸	自給的農家 968戸
農家数 (平成12年)	販売農家 3,044戸	自給的農家 985戸
専業・兼業の別	第2種兼業農家 2,443戸	第1種兼業農家 138戸 専業農家 463戸
専従者の有無	専従者なし 2,319戸	専従者あり 725戸
経営世代の状況	一世代家族経営 2,103戸	三世代等家族経営 39戸 二世代家族経営 902戸
後継者の状況	同居農業後継者あり 1,728戸	同居農業後継者なし 1,316戸

津山市の農家の状況(2000年農林業センサス)

倒木処理の作業は慎重に！

台風により被害を受けられたみなさんに、謹んでお見舞い申し上げます。

なかでも、10月に襲った台風23号は広い範囲にわたって木々をなぎ倒し、かつてない山林被害をもたらしました。

今後は、被害を受けた木の処理が問題になりますが、これらの倒木のほとんどが「傾き木」「転倒木」「かかり木」「折損木」となっており、通常の切り倒し作業以上の注意が必要です。

とくに風による倒木は、幹に異常な力がかかっていることが多く、切断時の裂けやはね返り、根株や幹の転倒・滑落などの危険があります。

十分な安全対策を行い、慎重に作業してください。

安全な作業のために

- 作業は必ず2人以上で
- そでやすそが締まった衣服、滑りにくい履物、ヘルメットを着用する
- ロープや支柱などで被害木を固定し、作業に取りかかる
- 上下位置での作業や接近した作業をしない
- 倒木の山側(斜面上方)で作業する
- 切り倒しのときは退避場所を確保しておく

倒木処理についてのお問い合わせは、市農村整備課 32 2078へご連絡ください。

新教育委員長



12月20日の教育委員会で、黒瀬通弘教育委員長の後任に杉山知子委員(下高倉西)が選任されました。任期は平成16年12月25日から平成17年12月24日までの1年間です。